

事業所名		幡多希望の家医療福祉センター 多機能型事業所さくらんぼ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		2026 年		2 月		1 日	
法人（事業所）理念		・私たちは、利用者の人格を重んじ、如何に障害が重くとも人として成長・発達の可能性を信じ、その実現に努めます。 ・私たちは、家族的雰囲気を大切にし、笑顔を絶やさず、日々明るい生活を利用者と共に過ごります。 ・私たちは、第三者・利用者の心の声に、いつも謙虚に耳を傾け、日々の業務改善と資質の向上に努めます。 ・私たちは、この施設を地域の福祉資源として活かし、地域の発展に努めます。													
支援方針		・障害児及びその保護者の意思を出来る限り尊重しながら、支援を必要とする対象児に対し、日常生活における基本的動作の獲得・向上及び集団生活に適応することができるような支援を行います ・お子様の状態に合わせた、安心安全な医療の提供を行います													
営業時間		9 時 0 分から 17 時 30 分まで				送迎実施の有無		あり なし 要相談							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	体調管理・体重測定（1/月）・必要に応じてDrの診察・モニター管理・酸素投与・吸引・医療機器等の管理・医療検査・必要に応じ他機関への紹介も行います リハビリ（PT・OT） 生活リズムや生活習慣の形成・発作時の対応・食事（経管栄養等）・排泄・起き上がりや歩行訓練等を行います 心も体もリラックスできるような、心地よい環境づくりを行います													
	運動・感覚	リハビリ（PT・OT）・状態に応じての個別支援 取り組み（ミュージックケア・風船バレー等）、施設敷地内散歩等を行い身体を動かす遊びや感覚を刺激する活動を提供します 姿勢と運動、基本動作の維持・向上を図ります													
	認知・行動	季節行事や、音楽・散歩・絵本・手遊び・絵を描く・制作活動等を通じ色や形、重さ柔らかさ等の感覚を養う支援をします リハビリ（PT・OT） 朝の会や終わりの会、活動の始めと終わりに号令や挨拶を行う事で見通しが持てるよう支援します													
	言語 コミュニケーション	利用者の表情や、動き等で本児の思いや感じ方を受け取り自己決定支援に取り組んでいます 本児の思いをくみ取り、言い換えを行い本児に返す・日頃の会話の中で、本児の思いを伝えたり相手の思いを返したりしながら他者とのやり取りの経験を行います お友達と関わる事で、相手を意識したりかわり方を学んでいきます リハビリ（PT・OT）													
	人間関係 社会性	リハビリ（PT・OT） 意志の表出を引き出す支援を行い、他者との関わりを持つ楽しさを感じれる様支援します 沢山の職員と触れ合ったり、声をかけられることで信頼関係を築けるよう支援します													
家族支援		送迎時や家との連絡ノートで保護者との情報の共有を図っていきます 保護者や兄弟との関り、家庭での困りごと、子育てに関する不安などの悩みに対しての相談援助を行います				移行支援		学校などへの情報共有を行います ライフステージに合わせた移行準備・カンファレンスへの参加を行います							
地域支援・地域連携		各関係機関（学校や保育園等、行政や他の児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援事業所など）との連携を図っていきます				職員の質の向上		施設内での義務研修（1/月）及び外部研修への参加を行い、職員の知識と技術の向上を図ります 新人研修 Eラーニングを使用した各階層別研修体制							
主な行事等		防災訓練（定められた回数）・地区合同訓練 季節行事（お正月・節分・ひな祭り・端午の節句・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・クリスマス会） 希望の家祭など ミュージックケア（毎月）													

事業所名		幡多希望の家医療福祉センター 多機能型事業所さくらんぼ（放課後等デイサービス）				支援プログラム		作成日		2026 年		2 月		1 日	
法人（事業所）理念		・私たちは、利用者の人格を重んじ、如何に障害が重くとも人として成長・発達の可能性を信じ、その実現に努めます。 ・私たちは、家族的雰囲気を大切にし、笑顔を絶やさず、日々明るい生活を利用者と共におくります。 ・私たちは、第三者・利用者の心の声に、いつも謙虚に耳を傾け、日々の業務改善と資質の向上に努めます。 ・私たちは、この施設を地域の福祉資源として活かし、地域の発展に努めます。													
支援方針		・障害児及びその保護者の意思を出来る限り尊重しながら、学校に就学している障害児に対して、授業の終了後または休業日に事業所において個々の特性や障害程度に応じた集団活動の提供を行います ・安心安全な医療の提供と、多職種が連携・協働し成長段階の子供を支えます													
営業時間		9 時		0 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり      なし      要相談			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	体調管理・体重測定（1/月）・必要に応じてDrの診察・モニター管理・酸素投与・吸引・医療機器等の管理・医療検査・必要に応じ他機関への紹介も行います リハビリ（PT・OT） 生活リズムや生活習慣の形成・発作時の対応・食事（経管栄養等）・排泄・起き上がりや歩行訓練等を行います 心も体もリラックスできるような、心地よい環境づくりを行います													
	運動・感覚	リハビリ（PT・OT）・状態に応じての個別支援 取り組み（ミュージックケア・風船バレー等）、施設敷地内散歩等を行い身体を動かす遊びや感覚を刺激する活動を提供します 障害の特性に合わせた安楽な姿勢で活動に参加できるようなポジショニングを行います ストレッチやマッサージの時間を設け、側彎や拘縮の予防に努めます													
	認知・行動	季節行事や、音楽・散歩・絵本・手遊び・絵を描く・制作活動等を通じ対象児の興味や関心の幅を広げる働きかけを行います リハビリ（PT・OT） 朝の会や終わりの会、活動の始めと終わりに号令や挨拶を行う事で見通しが持てるよう支援します													
	言語 コミュニケーション	表情や、動作、発声など自分の気持ちを表現できるよう支援していきます その思いを受け止め共感し、予測し代弁する事で気持ちの成長を促していきます。 お友達と関わる事で、相手を意識したりかかわり方を学んでいきます リハビリ（PT・OT）													
	人間関係 社会性	意志の表出を引き出す支援を行い、他者との関りを持つ楽しさを感じれる様支援します 他の利用者との中で過ごし、他者を意識しながら楽しく活動に参加出来る様に支援します													
家族支援		送迎時や家との連絡ノートで保護者との情報の共有を図っていきます 保護者や兄弟との関り、家庭での困りごと、将来に関する不安などの悩みに対しての相談援助を行います						移行支援		今後のライフステージに向けて家族や関係機関への情報提供を行います					
地域支援・地域連携		各関係機関（学校や保育園等、行政や他の児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援事業所など）との連携を図っていきます						職員の質の向上		施設内での義務研修（1/月）及び外部研修への参加を行い、職員の知識と技術の向上を図ります 新人研修 Eラーニングを使用した各階層別研修体制					
主な行事等		防災訓練（定められた回数）・地区合同訓練 季節行事（お正月・節分・ひな祭り・端午の節句・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・クリスマス会） 希望の家祭など ミュージックケア（毎月）													